

ニューソフィア

# New Sophia

73号

[vol.20-1]

福岡歯科大学は「口腔医学」を推進しています



Greeting

理事長・学長 年頭挨拶

2

大学長に北村 憲司氏を再任

2

Top News

口腔医療センター開院

3

【College News】

- 健康まるごと福岡学園開催
- 3 大学合同シンポジウム
- 慶熙大学との国際交流
- UBC Shah教授 来日
- ミャンマー医療援助活動
- 昇任教員紹介

7 7 7 7 6 6

【Event】

- 献体者慰霊祭・実験動物慰霊祭
- 福岡歯科大学学会総会
- お口と体の無料健康相談
- シティプラザ クリスマス・忘年会

8 8 8 8

◆ From The Alumni Association

同窓会だより

9

◆ Hi! From Clinic

のつとみ歯科医院〈長崎県佐世保市〉  
葉山歯科医院〈長崎県長崎市〉

10 10

◆ Message From Students & Parents

学生と保護者様からのメッセージ

11

◆ Information

平成24年度 入試日程  
平成23年度 特待生・特別奨学生

12 12



理事長 田中 健藏

# 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様それぞれに良い新年をお迎えになられたことと存じます。旧年中には、東日本大震災、福島原発事故、政治の混乱、デフレ、円高、経済不況など、いろいろのことがありました。今年が皆様にとって、そして福岡学園にとって、平和で飛躍の年でありま

すようにと心から念じてやみません。

本年は、本学が学校法人福岡学園として初めて迎える新年であり、学園・大学は創立40周年を迎えます。新しく開院した口腔医療センターが、全学協力のもとで、活動を活性化する年でありま

す。新春を迎えるにあたり、これまでに築き上げた伝統と実績を基に、想定外ということが無いよう慎重に事を進め、更なる飛躍を目指したいと思いま

す。全学を挙げて取り組む本年の重点項目を述べ、皆様の御協力、御協力をお願いいたします。

（口腔医学の確立・育成）第二に「口腔医学（口腔医療）」の理念を、文科省、厚労省をはじめ関係諸団体、大学、社会等に理解協力していただくよう努めるとともに、連携7大学との共同事業の推進に努める。

（優秀な学生の確保）第二に、入学定員の確保のため、オープンキャンパス参加者の倍増、高校訪問の効率化等、学生募集活動を効果的に行う。特待生制度の拡充等、優秀な学生の経済的支援を拡充する。

（国家試験対策）第三に、教養ある歯科医師育成を目指し、歯科医師国家試験における新卒者合格率の上位定着、共用試験全員合格を達成する。医療短大は、歯科衛生士国家試験、介護福祉士卒業時共通試験について全員合格を達成する。

（教育の質の向上）第四に、現行の講座制を再検討する。また「診療参加型臨床実習」の客観的評価基準、助言教員学生指導マニュアルを早期に作成する。要介護者の口腔ケア教育充実のため専門的・技術的教育を推進する。平成25年度の認証評価受審に向けて、自己点検評価報告書、大学基礎資料等を作成する。

（大学院教育および研究の質の向上）第五に、社会人大学院生を受け入れるためのカリキュラムを作成する。国内外の先端的研究施設や国際交流協定校の研究者との研究シンポジウムを企画実施する。科研費以外の競争的資金等の外部資金獲得に努める。

（安全で良質な医療の提供）第六に、医療機能評価受審の対応に万全を期する。医科歯科総合病院、口腔医療センターは、運営の効率化と財政健全化に資するため患者増に努め、診療部門別管理会計データ等を整備・活用する。歯科と医科の連携を強化する。（地域の保健・福祉への貢献）第七に、介護老人保健施設と介護老人福祉施設は、地域の保健・福祉のモデル施設としてサービス等の充実を努めるとともに、デイケア・サービス等の利用者拡大を図る。また、教育、研究、研修の場として二層充実させる。

（社会連携・国際連携）第八に、口腔医療センターの充実を全学の協力のもとに行い、関係諸団体、大学と連携して、公開講座、歯科医師卒後研修プログラム、地域への出前講座等を拡充する。国際交流協定校との学術交流、教員学生の相互研修の促進および欧米大学等との交流協定締結を促進する。

（財務・人事）第九に、新病院建設や教育研究振興のため、基本金等の自己資金の確保に努めるとともに、税額控除対象法人となるための寄付実績の確保に努める。人事考課の業績評価を期末手当に活用するとともに、昇給号俸の適正化を図る等、教職員の処遇の適正化に努める。短大運営の在り方について抜本的に検討する。

（安全管理・法令遵守）最後に、第十として、福岡学園情報セキュリティポリシーおよびハラスメントの防止等に関する法令倫理を正しく理解し、社会から信頼・共感の得られる行動を実践する。快適安全で環境に配慮したキャンパス整備を図る。

以上を今年の重点項目として、法人教職員が一人丸となって、学生が意欲をもつて勉学し、同窓生が誇れる母校を目指したいと思います。皆様ならびに学園にとつて、今年が良い年でありま

すよう重ねて念じて、新年の挨拶といたします。

（大学院教育および研究の質の向上）第五に、社会人大学院生を受け入れるためのカリキュラムを作成する。国内外の先端的研究施設や国際交流協定校の研究者との研究シンポジウムを企画実施する。科研費以外の競争的資金等の外部資金獲得に努める。

（安全で良質な医療の提供）第六に、医療機能評価受審の対応に万全を期する。医科歯科総合病院、口腔医療センターは、運営の効率化と財政健全化に資するため患者増に努め、診療部門別管理会計データ等を整備・活用する。歯科と医科の連携を強化する。（地域の保健・福祉への貢献）第七に、介護老人保健施設と介護老人福祉施設は、地域の保健・福祉のモデル施設としてサービス等の充実を努めるとともに、デイケア・サービス等の利用者拡大を図る。また、教育、研究、研修の場として二層充実させる。

（社会連携・国際連携）第八に、口腔医療センターの充実を全学の協力のもとに行い、関係諸団体、大学と連携して、公開講座、歯科医師卒後研修プログラム、地域への出前講座等を拡充する。国際交流協定校との学術交流、教員学生の相互研修の促進および欧米大学等との交流協定締結を促進する。

（財務・人事）第九に、新病院建設や教育研究振興のため、基本金等の自己資金の確保に努めるとともに、税額控除対象法人となるための寄付実績の確保に努める。人事考課の業績評価を期末手当に活用するとともに、昇給号俸の適正化を図る等、教職員の処遇の適正化に努める。短大運営の在り方について抜本的に検討する。

（安全管理・法令遵守）最後に、第十として、福岡学園情報セキュリティポリシーおよびハラスメントの防止等に関する法令倫理を正しく理解し、社会から信頼・共感の得られる行動を実践する。快適安全で環境に配慮したキャンパス整備を図る。

以上を今年の重点項目として、法人教職員が一人丸となって、学生が意欲をもつて勉学し、同窓生が誇れる母校を目指したいと思います。皆様ならびに学園にとつて、今年が良い年でありま



学長 北村 憲司

## 大学長再任

### 大学長に北村 憲司氏を再任

学校法人福岡学園では、12月20日（火）に理事会を開催し、平成24年1月31日で任期満了となる福岡歯科大学長に北村憲司大学長の再任を決定しました。任期は、平成24年2月1日から平成27年1月31日までの3年間です。

新年明けましておめでとうございます。

昨年三月に発生した東日本大震災と、それに続く福島原発事故によって、東北地方を中心に多くの犠牲者が出たこと、現在も、厳しい状況の中で、新年を迎えられている皆様がおられることを、まず、心に留めて、新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、それぞれに平成二十四年の新しい年を迎えられ、ご家族やお仲間の皆様と共に、それぞれの夢の実現に向けて、この一年の計画を立てられたことと思います。

ことしは壬辰（みづのえ）の年、六十年周期の二十九（に）年に当たります。壬は「中」に蓄え、大きくなられた状態、辰は「土を耕す道具」を意味するそうです。すなわち、壬辰はこれ迄の努力が蓄積され、実りとなつて現れる直前の年を意味します。皆様お一人お一人の夢が、この二年で着実に実現に向かい、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、私事ではございますが、昨年末の理事会の皆様から更に三年間、学長職の継続をお許しいただきました。この三年間、「口腔の健康を通して、全身の健康を守る」「口腔医学の確立に向かつて、カリキュラムの改革に、臨床実習の改善に、皆様と一緒に、努力をして参りましたが、まだ道半ばであり、これからの三年で完成せよとのご命令であろうと感じております。これまでも口腔医学プロジェクトの皆様を始め、多くの皆様の創意と工夫のもと、その企画立案、取組を行っていただきましたが、社会から信頼され、医師として正当に評価される歯科医師を育成するために、これからも皆様と一緒に、全力で努力したいと思ひます。教職員の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

福岡歯科大学は今年、四十年の節目の年を迎えます。これまでの福岡歯科大学の教育と研究を支えられた、多くの先輩諸氏の努力を受け継ぎ、次の新しい世代に引き継ぐことが、今「こ」にいる私たちが与えられた使命です。そのために、私たち一人一人が果たすべき役割をしっかりと確認し、その役割を

責任を持って遂行することが、本学の着実な発展の原動力になります。

福岡歯科大学は、まだ、苦難の時代にありますが、臨床実習を始めとする教育の改善、質の高い入学者の確保、研究者の養成を図る努力を、断なく行うことが、この苦難を確実に乗り越え、唯の道であると感じています。お互いの緊密な協力の下で、お一人お一人の自立的な行動による、日々の診療、教育の改善、研究の進歩によって、本学園の中期構想を実現することが、社会から評価され、その存続を許される大きな力となり、本学の理念に近づく道標となります。

幸い、福岡学園は、教職員学生二人の顔と気持ちがお互いに理解できる、小さくとも絆の強い組織です。しかし、小さな組織ではあっても、社会から求められる責任は、しっかりと全うしなければなりません。大きな大学に比べて、二人一人が分担すべき責任は大きくなりますが、二方でお互いが協力できる環境は、十二分に整っています。そうした他大学にはない、福岡歯科大学、福岡学園の特徴を生かして、教員間、職員間の連携、そして、教職協働をしっかりと進め、社会の信頼を更に得られるよう、努力したいと思ひます。

今世紀の医療モデルとして、福岡歯科大学が提唱している口腔医学教育に基づく、歯科医師養成を実現するには、更に努力が必要ですが、全教職員が協力し、また、努力を怠らず、行うべきことを行うことによつて、その実現に歩でも、二歩でも前進したいと思ひます。

皆様お一人一人の特徴を生かして、教育、研究、診療の向上に向かう、この二年の着実な歩みが、皆様の自己実現を図る大きな歩であると同時に、そうした皆様の歩みが福岡歯科大学の、福岡医療短期大学の、また、サンシャインシティサンシャインプラザの理念達成に向かった、堅実な成長につながることをお伝えし、その実現を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



開所式



内覧会



同窓会より絵画が寄贈されました



診察室

**福岡** 福岡歯科大学口腔医療センターが完成し、平成23年12月13日（火）福岡市博多区博多駅前同センターにて開所式が行われました。

式は、宮口巖同窓会会長、白水智明父兄後援会会長をはじめ学内外の関係者約40人が出席して行われました。式では田中健蔵理事長から「大学としての社会的使命を果たすために、この施設を十二分に活用して口腔医学の理念に基づいた教育、研究、診療を実践し、歯科医師

の資質向上、患者様にとって最良の歯科医療の提供、地域歯科医療の活性化に務めたい」との挨拶があり、松浦正朗センター長から「大学の診療を提供できる場として、また近隣の歯科医療機関の先生方、同窓の先生方の診療のお手伝い、情報発信、あるいは卒後研修の場として活用していただける施設を作っていきたい」との挨拶がありました。

開所式終了後には、口腔医療センターの内覧会が実施されました。



内覧会



玄関

# 福岡歯科大学 口腔医療センターが開院



**口腔医療センターの  
ホームページができました!**

福岡歯科大学口腔医療センター

検索

<http://www.fdcnet.ac.jp/cod>

各診療科の紹介はもちろん、歯科医師向け生涯研修の告知やNEWSなど詳しい情報をアップしています。



## 福岡歯科大学口腔医療センター

福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル1階  
(JR博多駅から徒歩3分)

- センター長: 松浦 正朗 (前医科歯科総合病院長)
- 診療科: 総合歯科、口腔外科、口腔インプラント科、  
口臭科、スポーツ歯科、審美歯科、  
矯正歯科、小児歯科
- 診療時間: ●平日/10:00～19:00  
●土曜/10:00～13:00  
●日・祝日は急患のみ/10:00～15:00
- 設備等: デンタルユニット/16台、特別診察室/1室、  
手術台/2台、セミナー室(30人収容)/1室、  
カウンセリング室/1室、  
各種X線装置(CT、パノラマ、デンタル)



## 松浦 正朗センター長あいさつ

福岡歯科大学口腔医療センターは昨年12月13日に開所式が挙行され、14日からは実際に診療が始まりました。臨床各科のご協力により、有能なスタッフを多数推薦していただきましたので、博多駅前の地で患者様には質の高い口腔医療を提供して行きたいと思っています。

設備も最新です。博多駅周辺には多数の歯科医療施設がありますが、地域医療機関との連携として専門性が高い部分を分担することにより、協力関係を築くことができると信じています。

この施設は各科からの専門家の集まりですが、大学病院に比べれば医療スタッフは少人数です。しかし、臨床全科を網羅しているので、外来治療で可能な医療はすべて提供できます。さらに本校の医科歯科総合病院とは完全な連携を取っているため、入院加療が必要な場合

は医科歯科総合病院が担います。また医療センターは小規模な分、患者様には行き届いたサービスが提供できますし、スタッフにとっても働き甲斐がある職場になると思います。

九州新幹線が全面開通しました。九州各地から短時間で博多へ来ることができます。福岡歯科大学口腔医療センターは患者様にとって利便性が高いことは言うまでもありません。さらに空港にも近く近畿・中・四国、あるいはその他の地方の歯科医師の先生方にとっても、近隣の外国からも集まりやすい地の利です。九州各地の先生方と臨床面での連携が可能であり、また情報発信基地として、卒後研修施設として、そして海外との交流拠点として活用したいと思っています。またいろいろな方々がそのような目的で利用して下さることを心から期待しています。

### 設立趣旨

歯科医学の教育研究、歯科医師の資質向上、  
病診連携、地域の歯科医療への貢献等を推進する。

福岡歯科大学口腔医療センターは「口腔の健康を通して全身の健康を守る」歯科医療を実践する施設です。日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本小児歯科学会、日本歯科放射線学会、日本歯科麻酔学会が認定する専門医、指導医資格を持った教授・准教授等がスタッフとして治療にあたります。歯科大学附属施設ならではの設備を備え、専任スタッフによる思いやりのある医療を提供します。



歯科全般にわたる専門医、指導医資格を持った教授・准教授等が治療にあたります



全16ブースを備えた清潔感のある診察室



受付

### 施設・設備紹介

## スタッフ紹介



### 口腔医療センター長 松浦 正朗 (まつうら まさろう)

- 《略 歴》●東京歯科大学卒業 ●東京医科歯科大学歯学部病院医員(第一口腔外科学教室)  
●鶴見大学歯学部口腔外科学第一講座助手、講師、助教授 ●福岡歯科大学口腔インプラント学分野教授  
●福岡歯科大学医科歯科総合病院長 ●福岡歯科大学客員教授(常勤)  
●2011年11月 福岡歯科大学口腔医療センター長(特任教授)就任
- 《専門分野》口腔インプラント科
- 《資 格》歯学博士、日本口腔外科学会専門医、日本口腔インプラント学会専門医、指導医、日本顎顔面補綴学会認定医

#### メッセージ

口腔医療センターは臨床各科の専門家が集まって、総合的治療と専門的治療の両方を行う施設になります。口腔医学の観点から言えば今後の歯科治療の在り方を示す理想的な包括歯科治療が行われる診療施設を目指します。また私の専門の口腔インプラント治療を含め、患者様のニーズに応える医療を提供いたします。交通至便の地ですので、海外との交流拠点、および情報発信基地としても活用していきたいと考えています。



### 口腔医療センター教授 米田 雅裕 (よねだ まさひろ) 昇任

- 《略 歴》●九州大学歯学部卒業 ●九州大学大学院歯学研究科修了 ●九州大学歯学部助手  
●University of Texas Health Science Center at San Antonio 留学 ●State University of New York at Buffalo 留学  
●福岡歯科大学総合歯科学分野講師、准教授 ●2011年11月 福岡歯科大学口腔医療センター教授昇任
- 《専門分野》総合歯科、口臭科
- 《資 格》歯学博士、日本歯周病学会歯周病専門医、日本歯科保存学会保存治療専門医・評議員、日本口腔ケア学会認定資格、日本口臭学会理事、国際口臭学会会員、ICD (Infection Control Doctor)

#### メッセージ

私は子供の頃からむし歯が多く歯科治療では苦労しました。だから「怖くない先生、痛くない治療」をモットーにしています。むし歯、歯周病、口臭、入れ歯、その他なんでもお気軽にご相談下さい。また、むし歯も歯周病も口臭も原因は細菌感染です。私は口の細菌の研究をずっとやってきましたので、その知識を歯科治療にも生かしたいと考えています。一緒にお口のバイ菌を減らして素敵な笑顔、健康な身体、快適な生活を維持しましょう。



### 口腔医療センター教授 古賀 千尋 (こが ちひろ) 昇任

- 《略 歴》●福岡歯科大学歯学部卒業 ●久留米大学大学院医学研究科修了 ●久留米大学医学部口腔外科学講座講師  
●久留米大学医学部歯科口腔医療センター助教授 ●インディアナ州立大学歯学部留学  
●福岡歯科大学口腔外科学分野准教授 ●2011年11月 福岡歯科大学口腔医療センター教授昇任
- 《専門分野》口腔外科一般、顎変形症、スポーツ歯科、顎関節症、歯科心身医学
- 《資 格》医学博士、日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医(歯科口腔外科)、日本歯科心身医学会 歯科心身認定医・指導医、日本顎顔面補綴学会認定 認定医

#### メッセージ

口腔医療センターの特色は、博多駅という交通の便がいい所にあるにもかかわらず、大学病院と同等な高度な医療が受けられるという点です。私たち口腔医療センタースタッフは、的確な診断とわかりやすい説明を心がけ診療したいと思います。特に高齢化社会にともない様々な病気を持たれている患者さんに対する手術など、一般の歯科では治療が難しい患者さんに対し大学病院である利点を生かした治療を行いたいと思います。

●この他、日本小児歯科学会専門医・指導医 尾崎正雄 教授、日本歯科放射線学会専門医・指導医 湯浅賢治 教授、日本歯科麻酔学会専門医 富永晋二 講師等が診療を行います。

### 事務課長 歯科衛生士



松村 一裕



岩村 裕美



常岡 由美子



本多 笑香



■セミナー室

歯科医師等を対象とした様々な生涯研修を開催し、口腔医療人材を育成します



■口臭測定用ガスクロマトグラフ

歯科大学附属施設ならではの最新技術と設備を備え、質の高い医療を提供します



■X線CT診断装置



■手術室

## イベント 健康まるごと福岡学園

10月22日、23日の2日間、福岡歯科大学キャンパスにおいて福岡学園の総合イベント「健康まるごと福岡学園」が開催されました。あいにくの天気でしたが、各イベントとも多くの来場者で賑わいました。

### 学園祭「田の歯科祭」

正門北側駐車場を会場として第37回「田の歯科祭」が行われました。ステージではハイキングウォーキングと2700のお笑いライブをはじめ、次郎丸中学校吹奏楽部による演奏、地域の子供たちの大人顔負けのダンスや太鼓演奏など盛りだくさんの内容で会場を盛り上げました。



### 医科ミニ講座

医科の先生方が各診療科30分の講演を行いました。22日は耳鼻咽喉科、心療内科、外科、23日は内科、眼科、形成外科の先生によって糖尿病や胆石症など身近な病気からストレスやアンチエイジングまで様々なテーマが取り上げられました。



### 歯科無料相談

23日に歯科の専門医による無料相談を行い、むし歯や歯周病、矯正など子どもを中心に100名を超える相談者が来場しました。



### からだの科学展

本館1階学生ホールおよび学生食堂において「見る・聞く・触れるからだの不思議」をテーマに開催され、延べ700人以上の来場者で賑わいました。口の粘膜からDNAを取り出してみたり、お口と体の関係をクイズをとおして学んだりと楽しくからだの不思議を体験しました。



### 短大企画「口から始める介護予防」

本館1階学生食堂において歯科衛生学科は、歯周病チェックや歯にまつわるクイズなどで口腔内ケアの大切さをアピールしました。保健福祉学科は、障害者や高齢者への理解を深めてもらうために、ロボット犬のふれあいコーナーを設置しました。



### 介護施設見学・介護無料相談

介護老人保健施設サンシャインシティおよび介護老人福祉施設サンシャインプラザにおいては、施設を開放しての施設見学と施設職員による介護無料相談が行われました。併せて、利用者の方の作品も展示されました。



## シンポジウム 第7回3大学合同シンポジウム

10月23日、本館9階講堂において地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、本学の3大学の共催で、市民の健康づくりを目指して実施しており、今回で第7回目の開催を迎えました。今年は「子どもの食と健康」というメインテーマのもと、各大学の講師からそれぞれの専門分野における講演があり、本学からは成育小児歯科学分野の尾崎教授が「良く噛んで作る健康な心と体」と題し講演されました。当日は、地域の方や大学関係者を中心に200名を超える来場者で会場は活気にあふれ、来場者の食育に対する意識の高さがうかがえました。

#### 講演

- 座長・司会進行／佐藤博信 福岡歯科大学口腔・歯学部門長 冠橋義歯学分野 教授
- 「腸にやさしい子どもの食習慣」 三成由美 中村学園大学栄養科学部 教授
  - 「子どもの食べものの好き嫌い」 森島直美 福岡大学医学部小児科学 助教
  - 「良く噛んで作る健康な心と体」 尾崎正雄 福岡歯科大学成育小児歯科学分野 教授



## 国際交流 慶熙大学との国際交流

成育小児歯科学分野教授 尾崎 正雄

10月4日から15日まで、本学と2年毎に国際交流を行っている慶熙大学歯科大学校において、学生(5学年2名、大学院2名)を私と内藤准教授が引率し研修しました。同大学には、医学部、歯学部、看護学部、薬学部、東洋医学部があり、広大な敷地面積と学生が住みやすい環境が整った場所で、学生たちが生き生きと活動している感じが感じられました。歯学部附属病院のほぼ全科を視察訪問し、英語と日本語による臨床講義を受講しました。特に本学にない口腔内科の治療に興味深く、歯科心身医学とリラクゼーションを取り入れた治療体系に、日本にない斬新さを感じられました。

また、サテライト病院であるKHU hospital at Gangdongは、36台のユニットが効率よくまとまっており、大変機能的な診療所でした。研修期間中に北村憲司大学長ならびに谷口邦久教授が同大学を表敬訪問し、交流を深めるための調印式も行われました。これにより次回より1年毎に相互間で研修が行われるようになり、同大学との絆がさらに深まることになります。約2週間の研修は滞りなく終了し、全員元気に帰国しました。常に食事等をサポートしてくださった、慶熙大学の各科教員および学生、また、我々の研修を許可して頂いた田中理事長に感謝いたします。



慶熙大学歯科大学校長を囲んで



インプラント手術の見学風景

## 国際交流

## Shah教授来日

10月9日から14日までの6日間、国際交流の一環として、協定締結校であるカナダのブリティッシュコロンビア大学(以下UBC)からShah教授が本学を訪問されました。Shah教授は今後の学生相互交流、教員の交流・研究の推進等について田中理事長、北村学長と協議した後、本学の学生と教職員に対して計6回にわたる講演をされました。すでに本学からは4月9日から24日までの2週間、第6学年5名がUBCを訪問し、最先端の臨床実習プログラムに参加しています。これからの活発な交流による両校の更なる発展が期待されます。(P8関連記事)



## 海外援助

## ミャンマー医療援助活動

12月23日から31日までの9日間、平成16年に締結された本学とヤンゴン歯科大学との姉妹校協定に基づく学術交流の一環として、ミャンマー国民への医療援助活動を行いました。大関悟教授(口腔腫瘍学分野)をリーダーとする福岡歯科大学医療チームがヤンゴン歯科大学へ派遣され、ヤンゴン歯科大学口腔顎顔面外科および日本口唇口蓋裂協会(JCPF)と共同で手術や診察を行いました。

医療チームは大関教授の他、福沢秀昭助教、中山修二助教(口腔腫瘍学分野)、野上堅太郎講師(麻酔管理学分野)、郡留美主任看護師の計5名で構成され、ヤンゴン歯科大学附属サンピア病院にて合計19例の口唇口蓋裂の手術を行いました。また滞在中、ヤンゴン歯科大学との姉妹校協定に基づく今後の大学間交流について、Myo Win学長と意見交換を行いました。今後の両校の相互交流が期待されます。



福岡歯科大学医療チーム

## 昇任教員紹介

きど ひろふみ  
城戸 寛史 教授 口腔インプラント学分野

《略歴》福岡歯科大学歯学部卒。九州歯科大学・助手(旧歯科補綴学第1講座)、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンダ大学留学、福岡歯科大学口腔インプラント学分野講師、准教授を経て平成24年1月同大学教授に昇任。博士(歯学)福岡県出身。

## 《メッセージ》

口腔インプラント学分野は発足して13年の新しい教室ですが、これまで松浦正朗教授のご指導の元、活発な活動ができたと思います。今後、さらに多くの患者さんのQOLの向上を目標として、臨床、教育、研究に頑張っていきたいと思っています。



としだに こうじ  
利谷 幸治 講師 口腔外科学分野

《略歴》九州大学歯学部卒。同大学大学院口腔外科学専攻博士課程修了。英オックスフォードICRFラボ、ポスドクとして勤務。九州大学歯学部口腔外科学講座助手、福岡歯科大学口腔外科学分野助教を経て、平成23年11月同大学講師に昇任。博士(歯学)。福岡県出身。

## 《メッセージ》

手術では、主に顎変形症の手術を担当させてもらっています。今までは、臨床と教育でほとんど時間を費やしていましたが、今後は研究も行っていく所存です。



## 短大学科長選任

おおくら よしふみ  
大倉 義文教授を再任

福岡医療短期大学は任期満了に伴い、保健福祉学科長に大倉義文教授を再任しました。任期は平成23年12月1日～平成26年11月30日までとなります。



## 慰霊祭 第36回献体者慰霊祭

10月13日、萬行寺(博多区祇園町)において第36回献体者慰霊祭が執り行われました。ご遺族、養護施設関係者をはじめ、福岡歯科大学学生および学内外の関係者407名(学外177名、学内230名)が参列し、献体者の尊い御霊の冥福を祈りました。



## 第36回実験動物慰霊祭

10月13日、本学動物慰霊碑前において第36回実験動物慰霊祭が執り行われました。

日頃、アニマルセンターを利用し実験等に携わる関係者が多数出席し、実験動物に感謝し、慰霊しました。



## 地域貢献 お口と体の無料健康相談

10月9日、早良区の商店街(西新、中西、高取)において行われた勝鷹夢祭りに本学から「お口と体の無料健康相談」のブースを出展しました。1日だけの開催でしたが、152名の方が相談に訪れ大盛況のうちに終了しました。



## 学会総会 第38回福岡歯科大学学会総会

12月11日、福岡県歯科医師会館において第38回福岡歯科大学学会総会(会長:大関悟 口腔腫瘍学分野教授)が開催され、学内外から279名の参加がありました。「再生医療の新展開-歯・歯周組織・顎骨の再生と再建-」をテーマとしたシンポジウムでは、国立長寿医療研究センター歯科口腔先進医療開発センター中島美砂子部長の基調講演「歯髄再生による新しい歯内治療法の臨床研究に向けて」の後、本学細胞生理学分野 鍛冶屋浩講師、口腔インプラント学分野 城戸寛史准教授(当時)、歯科保存学分野 諸富孝彦講師、白石歯科医院 白石和仁院長(9期生)の講演があり、参加者からは活発な質疑応答がありました。また、そのほか一般口演やポスター展示なども行われ、盛況のうちに終了しました。なお、学会奨励賞には岡本愛彦氏(口腔外科学分野 大学院4年)と吉良迪子氏(成育小児歯科学分野 大学院1年)が選ばれました。



## クリスマス・忘年会 サンシャインシティ・サンシャインプラザ「クリスマス・忘年会」

12月18日、介護老人保健施設サンシャインシティにて「クリスマス・忘年会」が、また、12月17日には隣接の介護老人福祉施設サンシャインプラザにて「忘年会」が開催されました。入所者や職員による出し物などが披露され、入所者や利用者、ご家族、職員ら共々大いに賑わい、楽しいひと時を過ごしました。



## 特別講義 大学院特別講義

10月13日に本館5階504講義室において、ブリティッシュコロンビア大学 Ravindra Shah教授による「The meaning of Internationalism」、11月4日に同講義室において、ノースキャロライナ大学 山内三男教授による「An amazing world of lysine modifications of collagen」、11月22日に本館8階第3会議室において、上海交通大学 孫健副教授による「Computer Aided Design and Rapid Manufacture for Facial Prosthesis」の大学院特別講義がそれぞれ開催されました。大学院生をはじめ、教員も熱心に耳を傾けていました。



ブリティッシュコロンビア大学  
Ravindra Shah教授



ノースキャロライナ大学  
山内 三男教授



上海交通大学  
孫 健副教授

## 社会共通資本としての教育

医療と教育は誰のためのものなのだろうか。医療や教育を受ける個人は、そのことによって確かに恩恵を受ける。それでは組織や社会はその恩恵を受けていないのかといえ、誰が考えてもそうではない。労働の質がどうであれ、組織や社会は能力を持った個人

によって成り立っており、その意味で最も恩恵を受けているのは社会であると言っても過言ではない。にも拘らず、教育と医療を個人の受益に関する問題に還元するのはなぜだろうか。それは受益者とそうでない者に大きな不公平感を生じさせるからだろう。教育も医療も社会が必要とするから行われるのであり、個人の利益や幸福追求の手段として、他

の業と同列にしてしまうと、大きな錯誤に陥ってしまう。先日、亡くなった鴨下東大名誉教授は、医療と教育は社会共通資本であると、その重要性和理念を強く訴えられていた。日本の知性を失った損失は大きく、甚だ残念であるが、氏の提唱された理念が多くの心ある人々に受け継がれることを是としたい。

# 宮崎県福岡歯科大学同窓会 学術講演会

「ビスフォスフォネート製剤と顎骨壊死」

顎骨壊死

峯田 公隆(17期)

平成23年8月27日(土)16時から  
宮崎市のホテルメリーージュにて福



岡歯科大学宮崎県同窓会夏季総会、  
学術講演会ならびに懇親会が開催さ  
れました。今回の学術講演会の講師と  
して福岡歯科大学10期卒で現在、福  
岡歯科大学口腔医療センター教授当  
時口腔・顎顔面外科科学講座口腔外科  
学分野准教授であられる古賀千尋  
先生をお招きし、「ビスフォスフォネー  
ト製剤と顎骨壊死」というテーマで御  
講演いただきました。講演内容の前半  
はBRONJ(ビスフォスフォネート系薬  
剤関連顎骨壊死)について、後半は抗  
血栓療法患者に対する外科処置の注  
意点についてお話し  
いただきました。



床実験の内容、治療や連携の取り方な  
ど症例とともに詳しく解説してい  
だきました。会場内には、是非とも講  
演を聴講したいという希望の同窓生  
ならびに、同窓以外の宮崎県歯科医  
会会員の先生方が多数ご来場されて  
いました。

高齢化社会を迎えている日本にお  
いて、我々歯科臨床の現場では基礎疾  
患を有する高齢者の歯科治療がま  
ます増えてきています。そういった中  
で歯科治療上、どういった対応をし  
意しなければならぬかということに  
詳しく御教授頂きました。講演後  
には活発な質疑応答で討論が行われ、  
大変有意義な講演会となりました。

講演会終了後には、同窓会主催の  
懇親会が行われ、同窓の先生方とお酒  
を酌み交わしながら議論し合う場面  
もあり楽しいひと時を過ごされたよ  
うでした。懇親会は古賀先生の今後の  
御活躍を同窓生らで祈念して盛会の  
のちに幕を閉じました。

## 卒業生 NOW

### 「精力善用」「自他共栄」

侯野 正仁 (5期)



卒業して28年が経ち最も増えた数値は体重です。  
在学中は柔道の試合の為に先輩方から「飯地獄」の  
洗礼をうける程スリムな体型でしたが今となっては見る影もありません。柔  
道部在籍中はとにかく早く辞めたい一心で、二度と柔道をする事は無い  
と思っていました。ところが地元に戻り高校の柔道部の大先輩とお会い  
したことがきっかけで、柔道協会の手伝いをする事になりました。その後、  
平成16年に少年柔道教室(大村柔道協会 錬成会)が始まると同時に  
教室長を任せられました。仕事で手一杯の状態ではありましたが、ここまで  
やってこれたのも柔道を通して体力と礼儀や人間関係を教えて頂いたお  
陰ということから恩返し気持ちで引き受けました。子どもたちには勝つこ  
とに執着せず基本を大切に、健全育成、柔道普及を目的に指導を行な

っています。当初は団体戦(2分×5人)に出場しても、全部で5分もか  
からないような弱体チームでしたが、先生方や保護者会の支えで現在では  
県大会で決勝まで勝ち進むところまで強くなりました。これからの目標は  
県で優勝と礼儀の面でも1番になることです。また私達指導者も修行を  
怠らないようにしなければなりませんので、高段者大会や歯学体の全日  
本歯科医師柔道大会に参加してきました。お恥ずかしい話ですが、よ  
る年波には勝てず最近腰の痛みや足のしびれが悪化しそろそろ試合は無  
理かなと思っています。来年師範(6段)の審査まで試合に出れるか微妙  
なところですが。本年8月、歯学体柔道部門を福岡歯科大学が主管します。  
柔道協会、道場連盟で役員をしている関係で  
長崎市で開催のお世話をさせて頂くことにな  
りました。今後も柔道の創始者、加納治五郎  
先生の示された柔道の基本理念である「精  
力善用」「自他共栄」を心に刻んで診療や歯  
科医師会のほか地域での活動に邁進してい  
きたいと思っています。



## 同窓生からの手紙

### 歯科界の未来...

神田 晋爾 (4期)

福岡歯科大学は1973年(S.48)に開学し、開学以来はや38年が経  
過しました。私は、4期生として1976年に入学し1982年(S.57)に卒業  
しました。その頃を改めて振り返ってみると、現在の歯科界を取り巻く環境  
は大きく変化してしまいました。2005年度(H.17)に我が国の人口がマイ  
ナスに転じた事、グローバル化に伴う生活格差の拡大、超高齢化社会、  
診療報酬の減額、患者負担率の増額など様々な要因で、我々は、今まで  
に厳しい冬の時代を迎えています。40年前に誰がこの様な状況を予測し  
たでしょうか。しかし、一方で国民の健康に対する意識は以前よりかなり向  
上しています。今、日本の国民の人口は2005年で12,750万人です。あ  
る調査によると、そのうちの、ほぼ70%の人が口腔内に不満を持っている  
と言われています。すなわち、日本の国民のうち約8,925万人の人が歯、

口腔に不満があるというわけです。その中で、歯科診療所の窓口を訪れ  
た人は、わずかに1,277.2万人にすぎません。その差7,647.8万人の人は、  
口腔内に不満がありながら歯科診療所に訪れていない事になります。  
この差をうめることが、我々は増患につながり、また、お口の健康を取り戻  
す事となり、ひいては健康寿命と平均寿命の差をうめることに繋がるでし  
ょう。日本はTPP問題などグローバル化が進む中で、また新たな大きな変  
革の時期を迎えています。歯科においても、ケアからケアの時代へ、全  
身の中の歯科、口腔という様に位置づけが変化してきています。福岡歯  
科大学は福岡学園となり、サンシャインシティなど単に歯科ではなく、口腔  
医学・医療という学問体系を確立しています。我々卒業生も歯科だけの  
事にとらわれず、視野を大きく広げて『未来・将来』を見据えて様々な問題  
に取り組んでいかなければならないと思います。我が校の卒業生も3,800  
人を超えました。こんな時代だからこそ卒業生と母校とが相まって、歯科だ  
けでなく医療業界に新しい風を吹き込む事を期待します。私も微力ながら、  
その実現に協力したいと思っています。

## 一開業して感じたこと

納富 泰臣 (16期生 / のうとみ 歯科医院 (長崎県佐世保市))

一日二日を大切に  
体力と精神力で頑張っています

皆

様こんにちは。私は16期生の納富泰臣と申します。大学卒業後の12年の間、3軒の開業医でお世話になり、平成18年に故郷佐世保市で開業致しました。勤務医時代とは違い、全ての責任が自分に課せられるプレッシャーを感じつつも、その日二日が素晴らしい一日になる様頑張っております。現在スタッフは、私と衛生士2人、助手1人、時々受付をしてくれる、只今子育て真っ最中の妻、合計5人で日々診療に取り組んでおります。お陰様で患者様も定着しつつあります。



を過ぎ、二年の流れがやっと分かってきました。毎日の生活の中で心掛けている事があり、前日に明日やるべきこと、目標を決めてその日二日で出来ることは、その日のうちに終わらせる様に心掛けています。そうすることにより、その日二日の達成感を味わえる様になりました。今も決して時間に余裕がある訳ではありませんが、他の事に費やす時間が出来る様努力しています。

これまで仕事を通じて感じたことは、何事も体力、精神力が必要ということですが、私自身まだまだ強靱とまではいかず、発展途上ですので、今後益々皆様のご指導のもと頑張つて生きて行こうと思います。今回この様な掲載の機会を与えて下さった同窓会の方々に感謝致します。最後に皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



奥様と

## 一父と二人三脚で診療中

葉山 康臣 (23期生 / 葉山 歯科医院 (長崎県長崎市))

同窓の先生方に教えていただき  
診療の幅を広げる日々

こんにちは。23期生の葉山康臣と申します。大学卒業後、平成22年3月まで成育小児歯科学分野に所属し、現在は長崎市にて父と一緒に診療を行っております。現在の場所に移転開業して28年という長い歳月のなか院内の手入れがほとんどなされておらず、当初はどのようにしようかと頭を悩ませましたが、昨年の10月に院内のリフォーム等を行い、ようやく1年経過し落ち着いた感じがします。



があります。父の診療も実際に見るのは初めてで、ちょっとしたコツなどいろいろと参考になりました。強になりました。たまには、意見が合わないこともありますが、基本的にはお互いに干渉しないタイプなのでなんとなくうまくいっているような気がします。

長崎の方に帰つてからは、小児歯科診療を行う時間はめっきり少なくなつてしまい、若干、物足りなさも感じております。以前より来院されてる患者様は、成人・高齢者がほとんどですが、それでも小児歯科の医局に残つていて本当によかつたなと思つています。ただ、大学に在籍していた時とは違い小児歯科専門というわけにはいかず、同窓の先生に他分野の技術など教えていただきながら診療の幅を広げているところです。本当に、協力していただいている同窓の先生には感謝しております。また、大学でお世話になった諸先生方にも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



中央が葉山先生。共に働くスタッフとともに

## FROM STUDENTS 学生からのメッセージ

### 自分なりの恩返しと貢献

府川 晃久 (大学院2年)

口腔腫瘍学分野の大学院に進学して2年が終わろうとしています。進学前は、口腔顎顔面外科学講座で3年、天草中央病院歯科口腔外科で1年の臨床経験を積み、多くの患者さんと出会い、多くの先生に支えていただきながらうれしい時や辛い時を繰り返してきました。大学院に全く興味の無かった自分が大学院への進学を決めたのは、このような臨床経験の中で出会った方々がきっかけでした。それは、大関教授、多田先生、そして、悪性腫瘍の患者さん達です。

一般的に悪性腫瘍の患者さんは生死にかかわることが稀ではないため、術前術後の検査、知識や経験から判断、患者さんへの配慮は非常に重要であると、大関教授、多田先生から教えていただきました。知識、経験が豊富な大関教授、患者さん側への配慮を忘れない多田先生(たまに…の時もありましたが)と一緒に働けたことで、悪性腫瘍という疾患にもっと関わりたいと思うようになり、大学院に進学しました。現在は、悪性腫瘍の予後に関わりそうなタンパク質を見つけ、術前検査に役に立てないかと研究しています。

歯科医師になって6年、開業する友人、稼ぎのいい友人も増えました。うらやましい時、むなしい時もあります。それでも自分は悪性腫瘍の患者さんと向き合い、尽力したいと思っています。研究は決して楽ではありません。でも、研究は医療の向上につながり、患者さんのためになるのだから大学院に進学したことを後悔することはないと思います。



### アビスパ バレー 学祭 学校

熊谷 徹弥 (大学4年)

私は福岡生まれ福岡育ちのアビスパサポーターです。平日は授業とバレー。休日はスタジアムでアビスパ観戦を楽しんでおります。今年度、学園祭実行委員長に就任し、この生活に新たに学園祭が加わりました。学園祭は先生、職員、学生、地域の方々がたくさん関わっています。自分はバレー部のキャプテンもしていて部活中間の理解もなかったら実行委員長は出来なかったと思います。実行委員長の仕事を通していろんな方々に支えられている事を知りました。アビスパも同じで選手やスポンサーだけでなく、フロントやたくさんのサポーターに支えられています。学園祭当日は雨でしたがたくさんの方々が学園祭に来場してくれました。そして、学園祭が行われている最中にアビスパのJ2降格が決定しました。学園祭をやり遂げた高揚感と同時にアビスパJ2降格という悲しみを同時に味わった日でした。学園祭が終わり普段のアビスパ、バレー、授業の生活に戻りましたが、ふと学園祭の事を思い出し、「もっと出来た」だとか「ここはよかったな」などと思いついてしまいます。来年は5年生なので学園祭実行委員に直接かかわる事は出来ません。だから後輩たちの、学園祭実行委員のサポーターとして関わっていくのが僕の役目だと思っています。来年はアビスパを応援するのと同じくらい学園祭実行委員を応援したいと思います。頑張れ!学園祭実行委員!



## FROM PARENTS 保護者様からのメッセージ

### 福岡歯科大学とは…

「えっ!父兄会?」息子が福岡歯科大学に入学を果たし、やれやれ一段落と思った矢先、舞い込んだ一通の封書。「すわっ!もうなにかやらかしたか…?」一抹の不安が頭をよぎる。おそろおそろ出席してみても安心した(すまん、息子よ…疑った)。と同時に「大学に、父兄会?」今度は驚いた。そしてその活動に触れ、また驚いた。「なんとご親切な…。」

少し前、「命の入り口、心の出口」と題したシリーズが西日本新聞に連載された。お口の機能を言い表した妙句だと感心し興味深く読んだ。と同時に口腔機能への関心の高まりを感じた。そして先般「口腔保健法」が成立した。我々歯科医師の考えが、その行いが国の法律によって裏付けを得たということであろうか、それは生命を支える、国民の生活を支える歯科医療の礎となつてほしい。

学生諸君。福岡歯科大学が掲げる「口腔医学」との概念は、これからの歯科界を支えるであろうものとなる。諸君には、この理念をしっかりと学んでほしいと願う。

この春の未曾有の大震災、「絆」という言葉が見直された、ここには、本学と、同窓会、そして父兄後援会。三つの絆があり、三つの力が集約される。

国家試験の状況が益々厳しくなるものと予想される中、諸君はまずこの難関を突破しなければならない。しかし、歯科医師になる事が夢なのではなく、その先に夢を描いてほしいと願う。そして、福岡歯科大学は夢を叶える力を与えてくれる場所だと信じる。(ん〜っ、ちょっと真面目?)



長富 正博 様  
(父兄後援会理事)

### まずは、スタートラインに立つために!

歯科医療を取り巻く環境はたいへん厳しく、国民医療費の抑制、歯科医師需給問題、歯科医師国家試験や歯科医師臨床研修のあり方、歯科大志願者の減少など大きな課題をかかえています。厚労省によれば、現状の歯科医師数を維持していくには、毎年1200人の合格数で足りるとしています。歯科医師国家試験は、一昔前の資格試験ではなく、試験問題もスーパーエックスという多肢選択型が増加し、内容も困難になっています。そのような中で、歯科大を卒業しても、国家試験に合格しなければ、社会人としてのスタートラインに立てません。

昨年より、理事をさせて戴き、父兄後援会理事会・評議員会合同会議などに参加するたび、理事長、学長をはじめ、各担当の先生の学生に対する細やかなご指導、熱意がよく伝わってきます。卒業さえすればよいという安易な考えでは、国家試験には通らないこと、日常生活の中で、大学側が温情を見せない方がよい結果が出ること、日常の勉強を日々こなしていくことが非常に大切であるとのこと。

また、予備校の授業なども積極的に参加することが国試合格に必須とのこと。自分の子供を見ていると、楽観的で、危機感が足りないようにも思えます。先生方の熱意以上の頑張りを学生諸君に期待します。スタートラインに立つために。



木下 忠雄 様  
(父兄後援会理事)

平成24年度 入学試験日程

福岡歯科大学

| 歯学部    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |                      |                      |                      | 大学院 歯学研究科                                                                                                          |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 区 分    | 一般入試A日程                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | センター試験利用入試Ⅰ期 | 一般入試B日程              | センター試験利用入試Ⅱ期         | AO入試Ⅱ期               | 二次募集                                                                                                               |
| 募集人員   | 約35名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 約4名          | 約5名                  | 約4名                  | 約3名                  | 18名                                                                                                                |
| 願書受付期間 | H.24.1.4(水)～30(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |              | H.24.1.23(月)～2.17(金) | H.24.1.23(月)～2.15(水) | H.24.2.22(水)～3.13(火) | H.24.1.23(月)～2.10(金)                                                                                               |
| 試験日    | H.24.2.2(木)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |              | H.24.2.21(火)         |                      | H.24.3.14(水)         | H.24.2.16(木)                                                                                                       |
| 合格発表日  | H.24.2.6(月)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | H.24.2.8(水)  | H.24.2.22(水)         |                      | H.24.3.15(木)         | H.24.2.28(火)                                                                                                       |
| 試験会場   | 福岡歯科大学及び東京ガーデンパレス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |              | 福岡歯科大学               |                      |                      | 福岡歯科大学                                                                                                             |
| 問合せ先   | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427<br>●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●E-mail <a href="mailto:gakumu@college.fdcnet.ac.jp">gakumu@college.fdcnet.ac.jp</a><br>●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a> |              |                      |                      |                      | <br>◀携帯電話からの<br>アクセスは<br>こちらから! |

福岡医療短期大学

| 歯科衛生学科 |                   |                   |                     |                    |                                 | 専攻科・口腔保健衛生学専攻               |                         |
|--------|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 区 分    | 一般入試A日程(社会人含む)    | 一般入試B日程(社会人含む)    | 一般入試C日程(社会人含む)      | 一般入試 D日程(社会人含む)    | AO入試(社会人含む)                     | 二次募集                        | 三次募集                    |
| 募集人員   | 約15名              | 約5名               | 若干名                 | 若干名                | 約35名                            | 約5名                         | 若干名                     |
| 願書受付期間 | H.24.1.4(水)～27(金) | H.24.2.2(木)～15(水) | H.24.2.20(月)～3.7(水) | H.24.3.12(月)～26(月) | 詳細は<br>入試係まで<br>お問い合わせ<br>ください。 | H23.12.15(木)<br>H24.1.12(木) | H24.3.12(月)<br>～3.26(月) |
| 試験日    | H.24.2.1(水)       | H.24.2.17(金)      | H.24.3.9(金)         | H.24.3.28(水)       |                                 | H24.1.14(土)                 | H24.3.28(水)             |
| 合格発表日  | H.24.2.7(火)       | H.24.2.22(水)      | H.24.3.14(水)        | H.24.3.29(木)       |                                 | H24.1.19(木)                 | H24.3.29(木)             |
| 試験会場   | 福岡医療短期大学          |                   |                     |                    |                                 | 福岡医療短期大学                    |                         |

| 保健福祉学科 |                   |                   |                     |                    |                         |
|--------|-------------------|-------------------|---------------------|--------------------|-------------------------|
| 区 分    | 一般入試A日程(社会人含む)    | 一般入試B日程(社会人含む)    | 一般入試C日程(社会人含む)      | 一般入試 D日程(社会人含む)    | AO入試(社会人含む)             |
| 募集人員   | 約5名               | 若干名               | 若干名                 | 若干名                | 約15名                    |
| 願書受付期間 | H.24.1.4(水)～27(金) | H.24.2.2(木)～15(水) | H.24.2.20(月)～3.7(水) | H.24.3.12(月)～26(月) | 詳細は入試係まで<br>お問い合わせください。 |
| 試験日    | H.24.2.1(水)       | H.24.2.17(金)      | H.24.3.9(金)         | H.24.3.28(水)       |                         |
| 合格発表日  | H.24.2.7(火)       | H.24.2.22(水)      | H.24.3.14(水)        | H.24.3.29(木)       |                         |
| 試験会場   | 福岡医療短期大学          |                   |                     |                    |                         |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                      |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問合せ先 | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473<br>●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/</a> ●E-mail: <a href="mailto:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp">gakumuj@college.fdcnet.ac.jp</a><br>●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a> | <br>◀携帯電話からの<br>アクセスは<br>こちらから! |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

キャンパス歳時記

一年を振り返りつつ、恒例の「餅つき」開催

12月28日、本館学生食堂南側の庭園にて毎年恒例の「餅つき」が行われました。

餅つきには役員や教職員が多数参加し、つきたてのお餅を入れたぜんざいや暖かい豚汁などがふるまわれ、1年を振り返りながら懇親を深めました。



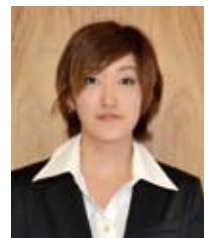
編集後記

本学出身者が、またひとり教授に就任しました。昨年12月には博多駅前に口腔医療センターがオープンしました。交通アクセスが良いことから、いろいろな地域の患者さんが来院しています。元気が出る話題をお届けできるのは本当に嬉しいことです。この編集後記を執筆している傍で、6年生は卒業試験の真っ最中ですが、これを突破し、国家試験では我々に明るいニュースを届けてくれるものと期待し、心から応援しています。平成24年がみなさま、ならびに、学園にとって良い年となることを祈念いたします。

特待生・特別奨学生決定

福岡歯科大学特待生

平成23年度の第1学年特待生に森志穂美さんが選ばれ、10月28日に表彰式が執り行われました。特待生は平成23年度前期の学業成績が特に優秀であり、品行方正かつ健康であることを加味し決定され、当該年度の授業料の半額(約175万円)が免除されます。



福岡医療短期大学特別奨学生

平成23年度第1学年特別奨学生に次の4人が選ばれ、11月2日に本館第1会議室において表彰式が執り行われました。特別奨学生は、当該年度の授業料の半額が免除されます。

歯科衛生学科



増田 百恵



石橋 玲奈



石井 美紀

保健福祉学科



田中 一成